

<h1>連帯はばたき</h1>	連帯ユニオン 関西ゼネラル支部 宣伝部
	第53号 2023. 1.
明るく・楽しく・元気に活動し、産業別労働運動を確立しよう！	

労働組合つぶしを許さない！

戦争する国家へ 変貌急な岸田政権

2023年元旦行動 大阪府警前に全国の闘う仲間



2023年の組合活動は、反弹圧・大阪府警前行動で幕を開けました。今年も全国から400名が結集して力強いスタートを切りました。1月1日朝10時、仲間たちの湧き上がる怒りの声がシュプレヒコールとなって大阪府警本部に響き渡りました。ゼネラル支部から新たに複数名の組合員が元旦行動に参加しました。

関生支部執行委員長は、検察の横暴な振る舞いは「ウソも百篇言えば本当になる」の手法だと、その裁判手法を批判しました。また、この間の闘いによって「敵のほころびが見え始めている」と支援に感謝するとともに闘う決意を表明しました。

続けて、参加団体からアピールを受けました。ロ々に年末に岸田内閣が行った安保3文書「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」の書き換え、専守防衛から敵基地攻撃に舵を切り、今後5年間で40兆円もの軍事費をつぎ込むことを批判するとともに、この戦争する国づくりの推進と表裏一体で今回の関生弾圧、闘う労働組合つぶしが行われたことを暴きました。2022年4月27日の大津地裁での公判で、関西生コン支部の元執行委員に対する取調べ録画が法廷で上映され、大津地裁の検察官が、「連帯、どんどん削っていきますよ」「連帯、処罰してください。業界、良くしてくださいって声があちこちから出てる。みなさんの協力で、よし、連帯削れるってことで捜査がはじまった。」と発言する等、初めから警察と検察、そして背後に存在する支配階級の労働組合つぶしの意思に基づいて、共謀されたものであることが、検察官自身の発言からわかっています。ゆえに、これは決して一過性の問題ではありません。労働組合としてこの問題から逃れることはできません。

3月2日13時15分から大津1次事件判決です。コンプライアンス活動は、先進国では労働組合が取り組む普通の活動です。ところが、検察はコンプライアンス活動を犯罪行為として、生コン支部執行委員長に懲役8年、他の組合員に懲役4年6カ月～1年6カ月という重罪求刑をしています。断じて容認できません。大津地裁に集まろう。

南陵学園分会 争議報告

《これまでの経緯》

和歌山南陵高校では、教職員に対する賃金の遅配の他、私学共済の長期滞納、就学支援金の保護者への還付の遅れ、寮のガス代の未納によるガス供給の一時停止等が問題となり、教職員が昨年5月11日に教育活動を一部停止したことから、マスコミにも「教職員のストライキ」として大きく取り上げられました。和歌山南陵高校の教職員が「ストライキ」によって求めたのは、〇元理事長による「教職員説明会」と「保護者説明会」の開催でした。乱脈経営に関して、保護者からの苦情も殺到しているにもかかわらず、〇元理事長は長期にわたって学校にも顔を出さず、「もうじき事業を承継する、寄付金が入る」等という文書を送り付けてくるだけで、具体的な説明は一切していませんでした。そこで教職員らは説明会の開催を求めたわけです。

「ストライキ」に当たって、当組合の南陵学園分会の分会長は、同校の副校長として、教職員の意見をまとめ、押し掛けてきたマスコミの対応に当たりました。これに対し、法人は、「無断でマスコミ対応をした」等として、分会長に対し自宅待機を命じ、6月3日懲戒解雇したのです。

組合は分会長の懲戒解雇に即座に反撃を開始しました。分会長は、組合の支援の下、6月16日に懲戒解雇の無効等を求めて大阪地方裁判所岸和田支部に仮処分手続の申立てと提訴。組合は近畿地本と共同で、6月22日、法人本部のある静岡県まで出向いて申入れ行動を行いました。また、法人が団体交渉にも応じていないこと等から、組合は大阪府労働委員会に現在3件の不当労働行為救済申立てを行っています。

《仮処分申し立て～勝利和解！》

仮処分手続については、昨年11月18日に和解が成立しました。法人側は退職前提の和解案を出してきましたが、分会長はこれを拒否。労働契約上の地位については裁判で争いを継続しながらの和解です。内容としては、法人側が賃金の一定割合を毎月の賃金支払日に支払うというものであり、懲戒解雇の無効を前提とした完全な勝利和解です。



《和歌山南陵学園が分会長を刑事告訴！》

ところが、仮処分手続での和解成立の直後に、法人は分会長を刑事告訴したのです。「ストライキ」を決定する際に、分会長が他の事務職員に虚偽の説明をしたとか、怒鳴りつけたとし、これが偽計業務妨害罪及び威力業務妨害罪に当たるというのです。分会長が組合に加入し、仮処分手続で勝利和解を勝ち取ったことに対する報復に他ならないと考えています。完全なこじつけの刑事告訴ですから、早晩不起訴の決定が出ると確信していますし、これについてあまり心配していません。

しかし、私たちは和歌山南陵学園の暴挙を絶対に許しません。自らの乱脈経営を棚上げにし、説明会を求めた労働者を、そして組合に加入した分会長を刑事告訴して脅しをかけてきたのです。この刑事告訴そのものが不当労働行為に当たると思いますので、労働委員会への救済申立ても検討中です。倍返しにして、刑事告訴したことを後悔させるとともに、小野元理事長を完全に放逐するまで闘います。

(担当役員)

すべての子どもたちに笑顔と希望を！

朝鮮学校への補助金再開、高校無償化を

国連の是正勧告を拒否する日本政府

人権に関する 217 の勧告＝死刑制度・メディアの独立性・従軍慰安婦問題・長期勾留の代用監獄・被爆二世援護法・核兵器禁止条約への署名・朝鮮学校への差別など、を日本政府は拒否している。とうてい先進国とは言えない恥ずべき政治体裁と言えよう。

政府は 2010 年に高校無償化制度を導入。多くの外国人学校を無償化対象とする一方で、在日コリアンの子どもが通う朝鮮学校は排除した。2010 年 3 月当時の橋下知事が朝鮮学校を視察し、子どもたちの歓迎を受け、笑顔で交流したはずだった。ところが、府の補助金 2 億円を打ち切った。橋下に続く松井元知事は、若い母親の「この子には教育を受ける権利はあるんですか、ないんですか？」の問いかけに、振り返りもしないで「ない」と言い放った。

あからさまに朝鮮学校を差別する維新の政治姿勢が、不満を抱えた一般の人の怒りの矛先を在日朝鮮人へと向けていく。ただでさえ、学校運営や学費、教材費で苦しい生活を強いられた上に、ヘイトスピーチで存在自体が否定され、攻撃され、殺意まで向けられて身の危険を感じる今日である。



すべての子どもたちに

笑顔と希望を！

朝鮮学校への補助金支給再開、朝鮮高級学校への「高校無償化」即時適用を求めて、2012 年 4 月 17 日から始まった大阪府庁舎前の火曜日行動。日本人支援者、朝鮮学校保護者と卒業生たちが毎週参加し、朝鮮学校に通う子どもたちにも等しく学ぶ権利が与えられる様熱い思いを訴え、真の共生社会を築くため地道な活動を続けている。

12 月 13 日第 500 回を迎えた火曜日行動。連帯、全港湾、港合同はじめ他のユニオンも加わり、平日にもかかわらず 300 人が集った。オモニ会の代表のアピールに続き、韓国の市民団体の方の応援アピールに力を貰う。火曜行動をブログで毎週報告してくれるオンニョさんがこの行動を讃える詩を披露、火曜バンドと歌舞団の歌で盛り上がり、真っ黄色のイチョウ絨毯を踏みしめ府庁舎を周る行進に向かった。

シュプレヒコールに合わせ声を上げる度に力が湧き出る。弾圧を続ける府警を横目に北上、大手門高校の校舎の窓から生徒たちが注目し、大勢が手を振ってくれた。歩道からも車からも注目を浴び、短い時間ではあったが、国境を越えた連帯こそが平和構築の基本であることを改めて実感する一日となった。在日外国人問題は日本人の問題であるというのは共有する認識であり、この協力活動がお互いの助けになり、信頼関係を築いてきたのは事実。公務に於いて不名誉な歴史の積み重ねであるという認識を共有させるためにも行政に携わるものに対し訴え続ける活動は続けていきたい。

老朽原発うごかすな！ 関電包囲全国集会 ～超危険な美浜3号、もう廃炉～

12月4日13時から、900人が集まり大阪市北区中之島にある関西電力本社を取り囲んで、「老朽原発うごかすな！ 関電包囲全国集会～超危険な美浜3号、もう廃炉～」が行われました。

ウクライナ紛争では、戦争になれば、原発は格好の攻撃目標になることが実証されました。それでも、政府や電力会社は、この紛争によるエネルギー逼迫や炭酸ガス削減を口実にして、原発の稼働に躍起になっています。岸田首相は、原発政策を大転換して、原発の運転期間は原則40年、最大60年とした法律を蔑ろにして「次世代原発の建設を検討」「原発運転期間の60年超への延長」など、新規規制基準審査に合格している原発17基のうち最大9基を今冬に、残る8基を来年以降早期に稼働とする方針を打ち出しました。



集会は、原子力発電に反対する福井県民会議の明通寺住職中嶋哲演さんが、「美浜3号機の停止、廃炉を求めるとともに、高浜1号2号を再稼働させる前に廃炉に追い込もう」と主催者挨拶を行い、続けて井戸謙一弁護士が美浜原発3号機差し止め仮処分について報告しました。

当初、関電は再稼働の予定は10月と言っていたので、裁判所はそれまでに決定を出すことにしていた。ところが、姑息にも関電が8月に再稼働させてしまったので、裁判所の決定が遅れに遅れていて、12月2日になってようやく裁判所が「12日から20日までのどこかで決定を出す」という前代未聞、異例の連絡をしてきた。裁判所の決定が遅れたために、九州電力が運転開始40年を目前にした川内原発1号2号の20年延長申請を出してしまった。電力会社が延長運転を申請する前に裁判所の決定が欲しかった」と。

そのあと、原発賠償請求の3訴訟原告から裁判の現状報告と支援の訴えがあり、全国、関西各地の団体がアピールしました。関西の労働組合からおおさかユニオンネットワーク代表が、「40年の約束を自分たちの都合で延長し約束を守らない。労働問題も同じで、使用者が労働組合との約束を守ることで円満な労使関係が生まれる。使用者の一方的な約束不履行が争議に発展する。関電は、約束を守り、老朽原発を廃炉にするべきである」と訴えました。



集会後うつぼ公園に移動して難波まで、ポテッカードを片手に、「超危険な美浜3号今すぐ廃炉」、「老朽原発をうごかすな！」と訴えてデモ行進しました。

老朽原発を廃炉にし、それを突破口に、原発のない、人の命と尊厳が大切にされる社会の実現に向けて邁進しましょう。

(執行委員 C)

23 春闘で 大幅賃上げを実現しよう！

春闘学習会

日時 1月27日（金）19:00 会場 天満橋事務所

春闘要求づくり

(1)業種別部会

①医療介護保育部会

日時 1月29日（日）12:30 会場 ユニオン会館

②一般業種部会

日時 2月4日（土）10:00 会場 天満橋事務所

(2)支部委員会

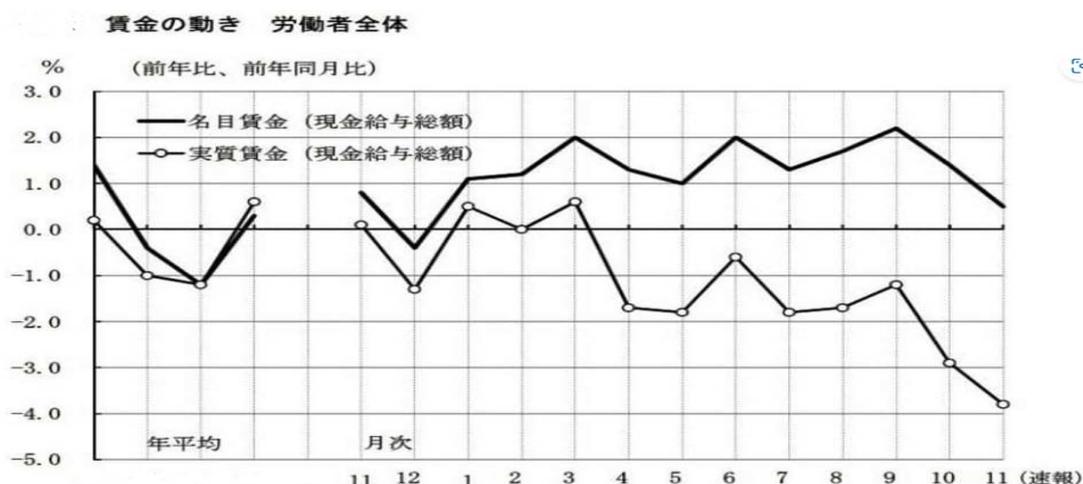
日時 2月26日（日）10:00 会場 エルおおさか

統一要求書一斉提出

23 春闘集会

日時 3月19日（日）13:00 会場 南堀江公園

実質賃金指数は、2020年100とすると85に低下 「毎月勤労統計調査2022年11月分」
ガソリンは高値安定、電気代・ガス代は大幅値上げ、生活物資は相次ぐ値上げで、実質賃金は
8カ月連続マイナスに。困窮する労働者のくらしをしり目に、軍事費（GNP2%）は11兆
円、5年間で40兆円という途方もない金額に。今こそ生活維持・改善の闘いに立ち上がろう。



ネットワーク会議、2月は中止します

おしゃべり喫茶は、2月25日（土）14時 天満橋事務所にて